

凡 例

1 グレート・ブックスとして取り上げた作品および人物について

定評ある下記の全集・文庫に収録された作品を基本とし、高等学校の倫理社会の教科書および参考書でよく取り上げられる作品・人物を参考にしながら、グレート・ブックスとして 57 作品、その作品を著した人物(あるいは関連が深いと思われる人物)として 51 人を選定した。なお、作品・人物の選定に際しては、次の方針に従った。

いわゆる古典・名著としてよく取り上げられる作品を、重点的に選定する。
社会科学および人文科学の「思想」を中心として、「文学」と専門分化した「科学」を除く。
特定の時代に偏らないよう注意し、20 世紀前半(1945 年)までに活躍した人物の作品を対象とする。
思想の系譜を考慮し、思想上特に重要と思われる人物の作品は取り上げる。
地域・宗教のバランスを考慮する。

【選定に使用した基本図書】

岩波書店	日本思想大系、岩波文庫
河出書房	世界の大思想
講談社	人類の知的遺産、講談社学術文庫
中央公論(新)社	世界の名著、世界の名著(続)、日本の名著、中公文庫
筑摩書房	世界古典文学全集、ちくま(学芸)文庫

【参考にした倫理社会の参考書】

第一学習社	倫理・社会資料集
中教出版	新選倫理資料集

2 構成

見開き 1 人物を基本とし、下記の項目を記載した。また、グレート・ブックスの理解を深めるために「コラム」を加え、巻末には「グレート・ブックス索引」と「グレート・ブックス人物索引」を付した。同一ページに複数の人物やグレート・ブックスがある場合には、キーワード・キーフレーズ、および引用文・解説の項目は省略した。

【記載した項目】

名著を著した人物、もしくは関連がもっとも深いと思われる人物の一般的な名称
上記人物の一般的な原綴形(姓, 名)
生没年
人物紹介
グレート・ブックス番号
グレート・ブックス名
グレート・ブックス紹介
キーワードもしくはキーフレーズ
上記のキーワードやキーフレーズに関連する引用文、もしくは解説
グレート・ブックス文献案内
理解を深めるために・参考文献案内

3 記述について

「名著を著した人物等」、「グレート・ブックス紹介」、「キーワードやキーフレーズに関連する引用文、もしくは解説」の記述については、関連する「グレート・ブックス文献案内」、「理解を深めるために・参考文献案内」に掲げる資料を参考にするとともに、巻末にある「参考文献」も参考にした。また、本書でまとまりのある引用については、その都度参考にした文献を明示した。

4 書誌事項について

神奈川県立図書館の蔵書の中から、グレート・ブックスそのもの(翻訳を含む)が読める図書と、関連する参考文献を選び、「グレート・ブックス文献案内」および「理解を深めるために・参考文献案内」として、下記の書誌事項を記載した。

【記載した書誌事項】

本タイトル 巻次(叢書・シリーズ名) 各巻タイトル/責任表示(役割区分)
出版者 刊年 ページ数 請求記号 資料番号

編著者が複数ある場合には、代表編者等を記した。

全集等、数冊にわたる図書の場合には、ページ数・資料番号は省略した。

必要と思われる図書には、適宜コメントを付した。

書誌事項に常置とある図書は、館外貸出禁止をあらわす。